

2018年7月31日

日本造血細胞移植学会
理事長 岡本真一郎

日本赤十字社 HLA 委員会「非血縁者間造血幹細胞移植における
HLA タイピング法に関わる提言」について

国際的に次世代シーケンサーを用いた HLA タイピング法(以下、NGS-SBT 法)が普及しつつあることに鑑み、このたび日本赤十字社 HLA 委員会においてわが国の非血縁者間造血幹細胞移植における適正な HLA タイピング法のあり方についての検討が行われ、添付資料のごとく本学会への提言(「非血縁者間造血幹細胞移植における患者・ドナー登録者の今後の HLA タイピング方法に関わる提言」)がなされました。NGS-SBT 法は、従来の SBT 法より優れた特性を多く有しており、本学会としてもこの提言を広く会員各位と共有し、諸条件が整えば、わが国の造血幹細胞移植の成績向上に寄与する HLA タイピング法として臨床現場に早期に導入されることが望ましいという見解を表明いたします。